

平成31年2月14日



担当課	総務企画課
担当者	福島・丹生
電話	(073) 488-5102
内線	

## 麻しんの流行について

2019年に入り、大阪府や三重県など近隣府県で麻しん患者が急増しています。和歌山市内においても、1月28日に麻しん患者1人の届出が、その後2月12日に1人、2月13日に1人の届出がありました。今後も広域的な地域において発生が考えられますので、ご注意ください。

### 1 麻しん届出状況（2019年）

	居住地	年齢	性別	発症日	予防接種歴	感染推定地域
患者A	和歌山市内	10歳代	男性	1月25日	2回	大阪市内
患者B	和歌山市内	10歳代	女性	2月9日	2回	大阪市内
患者C	和歌山市内	30歳代	男性	2月6日	不明	大阪、京都他

※上記患者について疫学調査を実施し、現在接触者について健康観察を行っています。

### 2 麻しんの症状等

麻しんは「麻しんウイルス」によって引き起こされる病気で、感染の約10日～12日後に38℃程度の発熱やかぜ症状がはじまり、2～3日発熱が続いたあと（カタル期）、再び39℃以上の高熱とともに発疹が出現します（発疹期）。時には脳炎を発症するなど重症になることもあります。また、麻しんの感染により、全身の免疫力が低下するため、他の細菌などに感染しやすくなります。このため、肺炎や中耳炎などを合併することもあり、妊娠している方は流産や早産の原因ともなります。

### 3 市民の皆様へ

発熱、発疹等の症状が出た場合は、受診前に医療機関に電話でその旨を伝え、マスク着用の上速やかに受診するとともに、旅行歴等についてお伝えください。